



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

たよりIGL

149号

2026年5月30日発行

エールを送るコミュニティマガジン



IGLの夢、それは
すべての人が生ある喜びを
わかちあえる理想郷づくり。

巻頭特集
一人ひとりの仕事が
IGLになる
IGLの運営を支える本部職員

IGLで働くひとインタビュー
「ひかりの森」見学会
IGL医療福祉専門学校在校生インタビュー
IGLが実務者研修を開講します

教えてドクター！
教会から「愛の手紙」
施設だより
LOVE注入レシピ

Love has just begun.
It will be stronger and never die ...

ひとりひとりの仕事、IGLになる

\\ SOCIAL WELFARE CORPORATION /

社会福祉法人 IGL学園福祉会

— 本部 —

高齢福祉事業や認定こども園の運営を行っています。



人事
職員の採用・退職の手続き、給与と計算を通じて法人の運営を支えています。



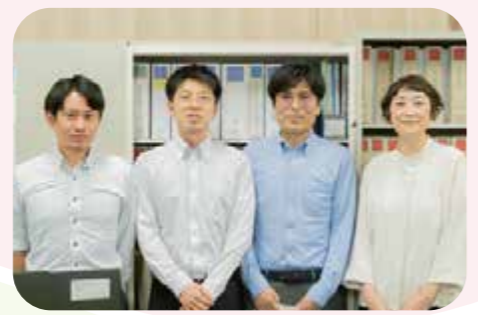
採用担当
人財の募集と確保を通じ、活気ある組織運営をバックアップしています。



本部長・総務
法人の経営管理から在留支援まで、組織の安定と発展を幅広く担っています。



システム
介護保険請求業務と、法人全体のシステム・インフラの安定運用を担っています。



財務
予算管理や会計を通じて、組織運営を支えています。



IGLグループのInstagramでは、各施設の紹介やイベントの様子、こども園などグループ内施設の情報を発信しています！

\\ EDUCATIONAL CORPORATION /

学校法人IGL学園

— 本部 —

認定こども園や専門学校の運営を行っています。



財務 財務 人事・総務 人事

IGLでは、こども園、高齢福祉、専門学校、本部と、1,500名の職員がさまざまな役割のもとで、日々の仕事を行っています。そのひとつひとつの仕事が重なり合い、IGLというかたちをつくっています。今回は、それぞれの現場を支える本部職員たちをご紹介します。

\\ IGL Group Companies /

IGL関連株式会社

高齢者、こども園の毎日の食事とともにIGLの活動を大きく支える関連会社です。



すべての人はそれぞれの貴重な価値をもって生きています。そして、愛はお互いの価値を認めあうことから生まれます。自らを低くして人の存在に感謝しその人らしく成長することその人らしく生きることをささえる中で共に喜びを分かちあい私たちが成長し自らの価値と能力を発揮することができます。



\\ IGL Group Office /

IGLグループ

— 本部 —

IGLの運営に関わる経営企画・管理、組織整備、グループ内部部門の連携推進を行っています。



今号では、IGLグループを支える「本部職員」のご紹介をいたしました。

私たちのグループは、社会福祉法人IGL学園福祉会、学校法人IGL学園、IGL関連株式会社、さらにグループ本部に分けて運営しています。

普段の業務の中では、本部職員がどのような仕事を担当しているのか見えにくい部分もあったかと思いますが、今回の特集が相互の理解の一助となれば幸いです。

グループ全体のより良い連携のためにも、皆様ぜひ本部職員にはお気軽にお声がけください。



本部3階中庭のバラがきれいです

IGLグループの納骨堂「IGLエスポワール(希望)納骨堂」が外観、内装とも綺麗に改修されました。

1977年に完成し、広島福音教会ゆかりの方々やIGLグループの老人施設をご利用されていた方々を安置しております当グループの納骨堂「IGLエスポワール(希望)納骨堂」が、この度、改修されました。

これに伴い、IGLグループの各施設に入所されている皆様の中で、納骨堂のご利用を希望される方を募集いたします。

各施設の施設長を通してお申し込みされることをお待ちしております。

お問い合わせ先 IGLグループ本部(担当:高橋)
☎ 070-8803-6102



エールを送る！

IGLで働くひと Interview

寄り添ってもらった経験が、今の私につながっています。

保育教諭 松尾 咲良さん

常勤

2023年入職
サムエル広島こどもの園に勤務。



入職当時の自分と比べて、一番成長したと感じる部分はどこですか？

入職当時は育児や業務をこなすことで精一杯でしたが、3年目になり子ども一人ひとりの気持ちや、個性にも目を向けて関わられるようになりました。声掛けや関わり方も子どもの様子を見ながら対応できるようになったと思います。また、周りの状況を見て考えて判断する力も少しずつ身につき、自分なりに成長を感じています。

職場の雰囲気や、人間関係の良さを感じるエピソードを教えてください。

子どもたちの姿を職員同士で共有しながら、より良い保育や関わり方をみんなで考えられる温かい雰囲気があります。困っている時にはすぐ気づいて声を掛けてくださったり、分からない時は丁寧に教えてくださるので、私も周りを気かけられるようになりました。忙しい中でも声を掛け合い、助け合える関係性に支えられています。

失敗して落ち込んだ時、先輩や同僚にどのように支えられましたか？

仕事でうまくいかず落ち込んだ時、先輩方が話を聞いてくださったり、「大丈夫だよ」と優しく声をかけてもらったことで気持ちが楽になりました。具体的なアドバイスもいただき、次はうまく出来るように先輩を見て学んだり、自分なりに行動してみたり前向きに取り組もうと思えるようになりました。また、休憩時間などでも気にかけてくださったり、声を掛けてもらうことがあり相談しやすい環境です。

挑戦を重ねながら、少しずつ成長しています。

保育教諭 川辺 波奈さん

常勤

2024年入職
サムエル西条こどもの園に勤務。



失敗して落ち込んだ時、先輩や同僚にどのように支えられましたか？

保育の中で失敗し、落ち込んでいたとき、先輩や同僚が優しく声をかけてくれました。自分の経験を話してくれたり、具体的なアドバイスをくれたり、その温かい支えに励まされました。ポジティブ思考な先生が多く、話す度に気持ちが軽くなり、前向きに考えることができるようになりました。周りの支えの大切さを改めて感じました。

入職当時の自分と比べて、一番成長したと感じる部分は？

入職当時は目の前の業務をこなすことで精一杯で周りを見る余裕がなかったり、失敗しないことばかりを考えてしまい、自信を持って行動することができなかつたりしていました。しかし今では子どもの気持ちや背景を考えながら、その子にあった関わりをすることができるようになりました。少しずつ視野が広がり、落ち着いて行動できるようになったことが一番成長したところです。

今後挑戦してみたい業務や取得したい資格は？

今後、行事に積極的に挑戦していきたいです。今年度、入職してから初めて幼児の担任になりました。これまで経験の少なかった運動会やページェントなどの行事に関わり、子ども一人ひとりの姿を大切に、成長を支えられるよう努めていきたいと考えています。私自身が経験を重ねるなかで達成感を感じ、自信につなげていきたいです。

職員募集のお知らせ

子どもたちの成長に寄り添いながら、自分自身も成長していける場所。サムエルでは、一緒に働く仲間を募集しています。詳しくは採用サイトをご確認ください▶



乳幼児保育・教育事業 Topics

『やってみよう!』が溢れ出す「ひかりの森」

4月25日(土)、信愛と広島こどもの園合同の「ひかりの森見学会」を開催しました。当日は多くのご家族が参加され、親子で森を散策しながら、ひかりの森の豊かな魅力に触れる一日となりました。

子どもたちは丸太登りや鶯の歌声、落ち葉を踏む音を楽しみ、五感を研ぎ澄ませて自然を満喫していました。木々の間から見える青空に目を輝かせ、『やってみよう!』と意欲を膨らませる姿が印象的でした。

こうした自然との出会いは、好奇心を刺激し「遊びをつくり出す力」や豊かな感性を育みます。今後も、誰もがのびのびと個性を伸ばせる環境を大切にしていきたいと思えます。



もっと知って サムエル 第1回

学校法人IGL学園 認定こども園 サムエル未来こどもの園



子どもたちの視線の先には、感動がいっぱい!

広い園庭では、子どもたちが体を思いきり動かして遊んでいます。園庭の周囲には、季節の移り変わりが感じられる木々や草花があり、自然物を使ったごっこ遊びや制作を楽しんでいます。

地域のつながりの中で育っている子どもたちは、車屋さん、消防士さん、お医者さんや看護師さんなど、身近な仕事に興味関心をもっています。その仕事のごっこ遊びが盛り上がってくると、地域の関連した仕事を訪問したり、仕事の内容などについて詳しくお話を聞かせていただくことがあります。

また、竹とんぼ作りが得意な保護者の祖父母の方に来ていただき、飛ばし方のコツを教えてもらうなど、世代間交流も行っていきます。



自動車屋さんの訪問



助産師さんの仕事

ご家庭でも読んでほしい、おすすめの一冊 絵本の世界

サムエル園長が丘こどもの園 園長 内村 美奈子



「おひさま わらった」 きくち ちき

「ひかりの森」に子どもたちと行った時にこの絵本の世界が蘇ってきました。きくちちきさんの描かれる絵は、優しく生命力に溢れていて、壮大です。子どもたちは、のびのびとしたタッチの絵に引かれ、色に圧倒され、この世界を想像してわくわくします。最後の場面では、子どもも花も虫たちもみんなが手をつなぎます。そしておひさまの光が降り注ぎおひさまが笑う。自然に出会いたい、森に出かけたいくなる1冊です。



園児募集について

サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

エールを送る！

IGLで
学ぶひと
Interview

History of Current Students 在校生のヒストリー

学生みなさんに
IGL医療福祉専門学校へ入学した
きっかけをインタビューしました。

歯科衛生学科

大森 朱楓さん 広島翔洋高等学校 出身



歯科衛生士を目指したきっかけは、友人からこの職業を教えてもらったことでした。調べてみると、将来が安定していて手に職をつけられる点に魅力を感じ、目指すようになりました。

IGLを選んだ理由は、フリー・マンデー制度があることと、オープンキャンパスで先輩方がとても優しく接してくれたことが印象的だったからです。

入学してからは、勉強に対する意識が大きく変わりました。周りのクラスメイトが日々努力している姿に刺激を受け、自分も頑張らないといけないと強く感じるようになりました。授業の空き時間には実技の練習を行い、試験前には友達同士で教え合っ分らないところを補い合いながら、理解を深めています。

卒業後の夢や目標はまだ明確ではありませんが、今学んでいる知識や技術をしっかり身につけながら、自分の興味ある分野で活躍できる歯科衛生士を目指し、これからも成長していきたいと考えています。

介護福祉学科

BUI THI LINH CHI(フイティリンチー)さん 留学生

私の名前は「リン・チー」です。ベトナム語で「愛霊芝」という人の健康に良い貴重なキノコを意味する名前です。将来たくさん人の役に立ち、健康や福祉に関わる仕事をしてほしいという父の願いが込められています。

成長していく中で父の思いの深さを知り、人に寄り添う仕事がしたいと考えようになり、介護福祉を学ぶ道を選びました。

IGLを選んだ理由は、先輩から「先生が本当に学生に寄り添ってくれる」と聞き、留学生の不安や生活面にも丁寧に向き合ってくれる温かい環境に魅力を感じたからです。

入学後は、高齢者を守るために全てを代わりに行うのではなく、その人の気持ちや能力を尊重し、できることを大切にしながら支えることが本当の介護だと学び、考え方が大きく変わりました。

将来は、利用者さんが安心して笑顔で過ごせるように寄り添える介護福祉士となり、学んだ考え方を母国にも広めていきたいです。



専門学校事業
Topics

3月19日に卒業式、4月6日に入学式を執り行いました。新たな門出を迎えられた皆さまのご活躍を心よりお祈りいたします。



鍼灸学科

齋藤 省吾さん 広島県立広島商業高等学校 出身



10歳から高校まで野球を続ける中でケガに悩まされることが多く、整骨院や鍼灸院の先生方に支えていただいた経験から、スポーツに励む選手をサポートしたいという思いが芽生えました。進路を考える際、母校のトレーナーがIGL出身で、お話を聞くうちに学校の環境や魅力を知り、柔整学科と鍼灸学科のどちらも将来につながる魅力があると感じました。その中で、自分より体の内面にアプローチできる鍼灸に興味を持ち、鍼灸学科を選びました。

入学後は、毎日30分でも1時間でも勉強を続ける習慣が身につきました。「やらされている勉強」ではなく、自分の夢のために選んだ道なので苦ではなく、むしろ楽しいと感じています。

将来は、中高生を中心にスポーツに励む人々を支え、ケガの予防やトレーニング指導、治療を通して競技に復帰できるようサポートしたいです。ケガで諦める人を出さない存在になることが目標です。

柔整学科

川邊 陽奈さん 広陵高等学校 出身



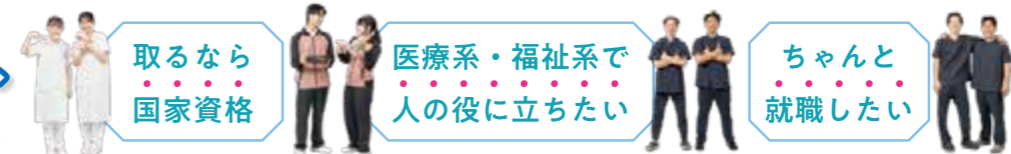
高校2年生の部活動中に靭帯を損傷した際、柔道整復師の方に施術していただきました。痛みを和らげてもらっただけでなく、優しい言葉で心まで支えていただいた経験から、私も人を笑顔にし、患者さんから必要とされる柔道整復師になりたいと思いました。

進学先としてIGLを選んだ理由は、資格取得を目指す環境が整っていて、柔道整復師とスポーツトレーナーの両方をめざせる点に魅力を感じたからです。特に、毎週月曜日に授業がないフリー・マンデー制度により、資格取得のための勉強時間や自分の時間を有効に使えることが大きな決め手となりました。

入学後は、勉強に対する意識が大きく変わりました。これまではテストを乗り越えればよいと思っていましたが、人に携わる仕事である以上、知識を曖昧にせず、しっかり身につけたいと考えるようになりました。

将来は、ケガの治療だけでなく心のケアもできる柔道整復師になることが目標です。

「こうりたい」が、
進路になる。IGL



「こうりたい」を、
ちゃんと形に
できる理由

オープンキャンパスの詳細、
進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報 ホームページ

1 「なりたい」が決まっていなくても、進路は考えられる

将来、何になるかはまだ分からない。でも、人の役に立ちたい、ちゃんと働きたい、資格を持って安心して進みたい。そんな「こうりたい」気持ちは、立派な進路の軸です。IGLは、医療・福祉の国家資格を通して、その想いを「仕事につながる学び」に変えていく学校です



2 だから、実習が違う。進路が広がる。

IGLは、現場を見ずえた実技実習が中心。IGLならではの実践的なカリキュラムで、「できる力」を身につけます。多様な就職先と厚いサポートで、進路の選択肢が広がります。



エールを送る!

IGLで働くひと Interview

“できる”を増やしていけることが、この仕事のやりがいです。

理学療法士 小川 ゆいさん

常勤 2024年入職 介護老人保健施設ペルローゼに勤務。入所中の方のリハビリ業務を担当。



今の仕事において、最も「おもしろい」と感じる瞬間はどんな時ですか？

利用者様と一緒に運動や動作練習を続けたり、動作のコツをお伝えすることで、今までできなかったことができるようになったり、ご自分でできることが少しずつ増えて、利用者様やご家族が喜んでくださった瞬間は、この仕事をして良かったなと感じます。また、利用者様お一人お一人のいろいろな経験を聞かせていただけるのも、この仕事のおもしろさだと思います。

忙しい時期の「リフレッシュ方法」や「ワークライフバランス」はどう取っていますか？

忙しいときこそ、睡眠をしっかり取ることは意識しています。集中力が低下した状態では仕事も捗らないので、休むときは休むと決めて、工作中、休憩時間や休日のメリハリは大切かと思えます。休日には、自分の好きなこと(ピアノを弾いたり身体を動かすこと)をすることで気分転換やリフレッシュにもなっています。

今はまっている推し活はありますか？

私の推しはback numberです。back numberの曲を聴いたりライブに行くのが楽しみです。学生時代から、勉強や部活で大変なときや辛いことがあったときに、back numberの曲の歌詞に何度も救われました。今でも仕事の通勤時間にback numberの曲を聴いて「今日も頑張ろう」と思ったり、時間があるときには歌詞を自分の字で書き写したりして、力をもらっています。



高齢福祉事業 Topics

ゆうゆう大規模修繕工事が終わりました。

このたびナーシングホームゆうゆうの大規模修繕工事が完了しました。広島市の補助金を活用した2~4階の内装・電気・空調・給排水設備などの全面改修に加え、1階玄関ホールについても改修を実施しました。

居室環境の改善やトイレのレイアウト変更に加え、スタッフルームの位置変更により職員の動線を見直し、利用者・職員双方にとってより快適で動きやすい、新たな環境が整いました。



介護福祉士への一歩となる実務者研修

IGLで実務者研修を開講します!

実務者研修は、介護福祉士国家試験を受験するために必要な研修です。現場での経験をもとに、知識や技術を体系的に整理し、次のステップへとつなげていきます。



IGLで学ぶポイント

働きながらも、生活リズムを大きく変えずに学べます!



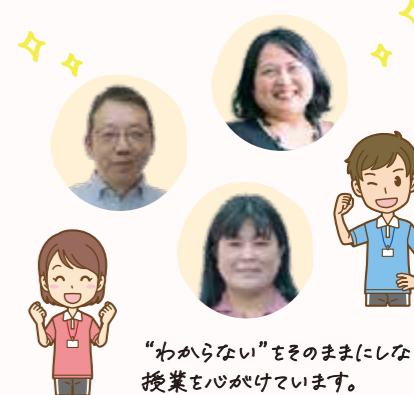
- ・自宅で進めるWEB学習
- ・実技を身につけるスクーリング

無理なく、着実に資格取得を目指せます!



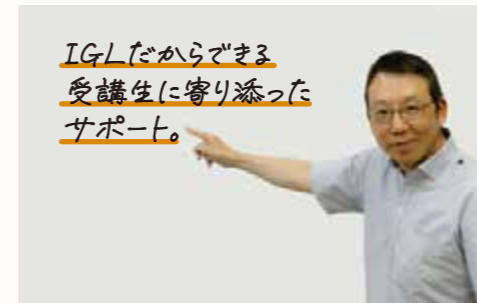
- ・講師にすぐ相談できる環境
- ・国家試験対策講座は無料

経験豊富な講師陣から楽しく学べます!



通いやすさも、続けるための大切な条件

IGLだからできる
受講生に寄り添った
サポート。



IGLでは、日々の生活の延長で通える環境のもと資格取得を目指せます

- ・安佐南区で唯一の実務者研修
- ・無料駐車場完備(車通学OK)
- ・希望者には職員食の提供あり(実費)
- ・休憩時間を利用して施設見学できます



IGLでは“その人らしさ”を大切にする介護を学べます

資格取得までの流れ

- 1 実務者研修(本講座)受講
- 2 介護福祉士国家試験 受験
- 3 資格取得!

※WEB学習+スクーリングで修了可能



まずは見学・ご相談から

お申込みはHPより

- 資料請求
- 見学予約 (空いた時間でOK)
- 受講相談

お気軽にご相談ください



<https://www.igl.or.jp/igl-training/>

児童発達支援事業所

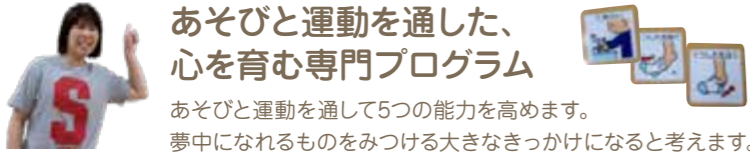
IGLベルすくすくキッズ

2026年4月 オープン!

サムエルこども園を運営しているIGLグループは、児童発達支援事業所「IGLベルすくすくキッズ」を開設しました。お子さまの発達に関する気持ちは、保護者の方にとって大きな不安です。IGLベルすくすくキッズは、その不安を「安心」に変えるために生まれました。

あそびと運動を通した、心を育む専門プログラム

あそびと運動を通して5つの能力を高めます。夢中になれるものを見つけた大きなきっかけになると考えます。




1 社会性と情動の学び

自分の気持ちを理解し、相手を思いやり、行動をコントロールする力を育みます。これは、豊かな人間関係を築くための土台です。専門的なアプローチで、お子さま一人ひとりの感情の育ちを丁寧にサポートします。



2 ポジティブな声かけの仕組み

私たちは、お子さまのできていること、素晴らしい点に注目します。「褒めて育てる」がスタッフの合言葉！常に前向きな言葉で関わることを徹底し、事業所全体でお子さまの自己肯定感を育む環境を創り出していきます。



3 一人ひとりのペースで楽しめるプログラム

例えば「サーキットあそび」では、「走る・渡る・投げる・くぐる」といった様々な課題に、お子さまが自分のペースで挑戦します。楽しみながら多様な運動スキルを自然に身につけ、「できた」という達成感を積み重ねられるよう工夫しています。



● 概要

営業日/月曜日～金曜日
サービス提供時間/10:00～11:30、14:15～15:45
定員/10名

社会福祉法人IGL学園福祉会
児童発達支援事業所

IGLベルすくすくキッズ

サムエル広島こどもの園ベル分園2階
〒731-0154 広島市安佐南区上安6-31-1

TEL 082-218-3300



見学・体験・ご相談など詳細は
ホームページをご確認ください

※受給者証がなくても体験可能です



教会から「愛の手紙」

“見よ。なんとという幸せ。なんとという楽しさだろう。
兄弟たちが一つになってともに生きることは。”(詩篇133篇1節)

美鈴が丘にあります広島福音教会は、今年で、創立、なんと80周年になります。永見憲吾理事長のご両親、永見以久三師・繁代師が始められた教会で、美鈴が丘に移転して45周年になります。

そのような節目の年に、この4月より、東京は広尾にあります21世紀キリスト教会の群の教会として、新しいスタートを切ることになりました。26年の長きに渡り広島のお勤めいただきました加藤望師・久美子師の転任に伴い、お二人の古くからの友人でもある私が後任者として、とても大切な働きを担わせていただくことになりました。

ところで、教会というものの機能はいくつかありますが、主だったものとしては、「病院」「学校」「家庭」が上げられると思います。

「病院」とは、良きサマリヤ人の話のように、傷ついた人の隣人になり、心も身体も癒される場所、また、疲れた人、重荷を負っている人に休んでいただける場所になることです。

「学校」とは、神の言葉である聖書の真理をわかりやすくお伝えする所であり、また、各々の心の成長を遂げていく助けをする場所でも

もあります。

しかし、最も大きな役割は「家庭」としての機能です。神に愛され造られた私たち一人ひとりが、その神の愛の中で、共に、愛し合い、受け入れ合い、赦し合う。そのような場所になることです。家庭ですから、愛と安らぎに満ち、自分のありのままの存在が受け入れられ、尊ばれる、いわば、ここにいていいという居場所となることだと思っています。そのようになれば、先に掲げた聖書の言葉のように、「なんとという幸せ。なんとという楽しさだろう。」と歌いたくなるのです。

教会といっても人の集まりですから完璧ではありませんが、広島の方々の、また、IGLグループの皆さんにとっての「愛に溢れる家庭」となれるようにと願い、祈りながら歩ませていただこうと思っております。

"Come and See!"「来て、見てください！」


拙い者ではありますが、たくさんの愛を皆さんとシェアできたらと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



主任牧師
山崎 ジョイ



先生ー！
知っておくと役に立つ情報を発信！



現代人は座りすぎ

クリニック アルペンローゼ
医師 江藤 高陽 先生

座位時間が長いほど死亡リスクが上昇。生活習慣病があるとさらに危険という衝撃的な事実が発見

座りっぱなしの弊害

座位時間が長いと
下肢の筋肉収縮がない

血中のブドウ糖の細胞内取り込みが減少
血中の中性脂肪の取り込みも減少

その結果、血中のブドウ糖や
中性脂肪の濃度が上昇

生活習慣病の
リスク上昇

さらに、長時間の座位により、下肢の血管で血液が粘り、詰まりやすくなる
血圧が上昇し、血管機能が低下する等の報告もある

歩く利点

ふくらはぎや太ももの
筋肉が使われ、
これらの筋肉が収縮する

- 1 ブドウ糖を運ぶ「グルコース輸送体」を細胞膜へ移動させることにより、血中のブドウ糖の細胞内への取り込みを促進 ▶▶▶▶ **血糖低下・細胞の働き促進**
- 2 筋肉中のリポタンパクリパーゼという酵素を活性化させ、血中の中性脂肪の取り込みを促進し筋肉にエネルギーを供給 ▶▶▶▶ **血中の中性脂肪低下**

1 日本は世界最長クラスの座位時間

厚生労働省公表データによると、日本人の平均総座位時間は中央値で**1日400分(6.7時間)**を超えている。

世界20か国の成人を対象にした平均総座位時間(2011年)

平均総座位時間	国名
400分	日本 サウジアラビア
350分	台湾 ノルウェー リトアニア 香港 チェコ共和国
300分	スウェーデン スペイン カナダ ベルギー アルゼンチン
250分	アメリカ ニュージーランド 中国 オーストラリア
200分	インド コロンビア ブラジル ポルトガル

中央値の平均:300分。日本は平均で約7時間弱、上位群に至っては600分(10時間)を超えている。



2 日本人の座りすぎデータ 高齢者では、平均座位時間8.8時間/日

- テレビ視聴の時間が長い。60才台で平均4時間、70歳以上5時間を越えている。
- デスクワークの増加(デスクワーカーは仕事の7割近くが座位) 移動時の車の使用(特に地方都市圏で平日の自動車利用率が年々増加)。
- 睡眠時間以外のうち、このように座って過ごす(座位行動)が約55%を占める。
- 立ち仕事や料理、洗濯等の**低強度身体活動が40%**、歩行や運動等の**中高度身体活動はわずか5%**に過ぎない。
- 中高度身体活動は、なかなか困難。これからの健康づくりでは座位時間を少しでも減らし、低強度身体活動を増やす取り組みが大事とされている。



4 対策

- 1 とにかく座位時間を減らす。こまめに動く、30分ごとに立つ・休憩をしながら座りっぱなしを止める。
- 2 移動手段をエレベーターやエスカレーター使用から、階段使用へ。在宅勤務中は30分ごとにストレッチをする、昼休みにランチンに出かけるなど、出来ることから始める。
- 3 厚生労働省は「+10 プラス・テン」(今より10分体を動かす)を推奨。

座位時間を減らし、
出来るだけ体を動かそう！



IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

施設だより

vol.9

株式会社エーデルワイス

セントラルキッチン



住所 〒731-0154
広島市安佐南区上安6-31-2

電話 (082) 218-5207

開設 1996年9月 **移転** 2022年3月18日

職員数 12名(内配送1名)

提供数 約4000食/日

※2026年5月現在

セントラルキッチンは、2005年(平成17年)11月に設立し、IGLグループ内の高齢者施設9箇所、認定こども園5箇所へ真空調理で加工した料理を提供しています。また、デイケア、デイサービスのご利用者様に個食の販売もしています。

2022年(令和4年)3月にナーシングホームシャレー敷地内の新工場に移転し、その際、新たに導入したのがベルトコンベア式フライヤーです。現在、セントラルキッチンにて、行事食の時に天ぷらなどを一度に揚げて、急速冷却にてマイナス20℃まで冷凍し、各施設に配送、厨房にて再加熱提供をしています。それまでは、行事の時に多くの人員、調理時間を有していましたが、5分程度の再加熱で提供できるため、効率化が図られています。

4月はお花見行事があり、セントラルキッチンで約1000食分のホタテ、きす、タラの芽の天ぷらを調理し提供しました。春らしいお弁当で、喜ばれたとの声をいただきました。



▲ベルトコンベア式フライヤー



▲真空包装



▲個食の販売

◀施設で提供したお花見弁当

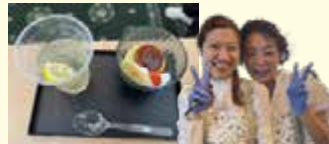


▲真空調理



▲圧力殺菌釜

LOVE注入♥レシピ



おうちで作るプリンは、ゆこがほっとするやさしい味わいが魅力です。ぜひ気軽に作って、手作りならではのおいしさを楽しんでみてくださいね♪
「昔ながらの、型からしっかり自立する固めプリン」がお好みの場合は、牛乳を「250ml」に減らすか、卵を「全卵2個+卵黄1個」に調整すると、コクと固さがアップします。お好みに合わせて試してみてくださいね！

材料 (4人分)

・カラメルソース
カラメル用の砂糖 …… 30g
水 …… 大きじ1
お湯 …… 大きじ1

・卵液
卵 …… 2個
牛乳 …… 300ml
砂糖 …… 50g
バニラエッセンス …… 少々

作り方

【カラメルソース】

1 鍋に砂糖と水を入れて中火にかけます。きれいな茶色(琥珀色)になったら火を止め、お湯を大きじ1(※跳ね返りに注意)加えて素早く混ぜ、型の底に流し入れます。

【卵液】

- 1 ボウルに卵を割り入れて、泡立てないように箸やホイッパーをボウルの底につけたままよくほぐし、砂糖を加えてさらに混ぜます。
- 2 電子レンジで人肌程度(50~60℃)に温めた牛乳を、1のボウルに少しずつ加えながら混ぜ、最後にバニラエッセンスを加えます。
- 3 卵液をこし器でこしてから型に注ぎます。
※表面の泡をスプーン等で取り除くと綺麗に仕上がります。
- 4 蒸し器または湯せんにかけ、弱火でじっくり15~20分ほど加熱します(お湯を沸騰させすぎないのがコツ)。中心を揺らしてみ、弾力があればOKです。
※竹串を抜いた穴から、白い濁った汁(生の卵液)がじわっと溢れてくる場合は、まだ中まで固まっています。
- 5 粗熱が取れたら冷蔵庫で冷やして完成です。しっかり冷やすと、よりなめらかな食感が楽しめます。

スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



・保育教諭 ・保育士 ・正看護師 ・准看護師
・歯科衛生士 ・ケアスタッフ(介護職)
・ケアマネジャー ・相談員 ・送迎ドライバー
・キッチンスタッフ など



IGLグループ

[本部] 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていくたい。「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。